

会議録（概要）

会議の名称	令和元年度 第1回佐渡市博物館協議会
開催日時	令和元年 11月6日（水） 13時30分開会 15時00分閉会
場所	佐渡市教育委員会 2階 第3会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 職員紹介 4 報告事項 5 議事 6 その他 7 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	佐渡博物館協議会 委 員 会 長 白杵 國男（社会教育関係者） 副会長 池田 雄彦（学識経験者） 委 員 小見 秀男（学識経験者） 委 員 加藤 恭子（学識経験者） 委 員 石川 喜美子（学識経験者） 委 員 相田 満久（学識経験者） 委 員 伊藤 正一（学識経験者）  事務局（社会教育課） 教育長 渡邊 尚人 課 長 粕谷 直毅 ジオパーク推進室長 齋藤 辰也 佐渡学センター長 濱崎 賢一 係 長 村上 賢如 主 任 中川 優子 主 任 石渕 裕作 主 事 五十嵐 麻湖 主 事 井野端 圭介 指導員 高藤 一郎平
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
濱崎センター長	1 開会
渡邊教育長 白杵会長	2 あいさつ
濱崎センター長	3 職員紹介
村上係長 中川主任	4 報告事項 (1) 平成 30 年度佐渡学センター事業の事業報告並びに決算報告について (資料 3、4 について説明)
濱崎センター長	30 年度の事業について、近年 PDCA が重要視されていますので、皆様方には事業の評価や率直なご意見をいただきたいと思えます。
池田副会長	佐渡博物館の入館者が非常に少なくなっているが、事務局としてどのように分析されているのですか。 今日、午前中の会議で「博物館の学校の利用率が 25%」と聞きました。学校の利用率も低いように思うのですが、事務局としてはどういう風に捉えているのか。理由を教えてください。
濱崎センター長	全体的な話になりますが、博物館の利用者は観光客が主です。また、学校の利用については、佐渡博物館よりも両津郷土博物館などの施設に来て勉強することが多いです。佐渡博物館のように、観光客に頼っている施設は、観光客の減少によって入館者数も減ってしまうのが今の流れだと感じます。 先の 10 月 22 日、即位礼正殿の儀の関係で入館無料にしたのですが、その時には数百人という入館者がいました。そういうことも含め、今後様々な形を考えながら入館者数を増やして行かなければならないと考えています。
石川委員	1 日でどれぐらいの人が利用しているのでしょうか。
中川主任	この時期だと、概ね 10～20 名程度/日です。
石川委員	大人の方が多いですか。
中川主任	観光シーズンはお子様連れも多いですが、今だと大人の方が多いです。
石川委員	小学校や中学校が博物館に来られたら利用客となるかと思いますが、子ども達が授業や研修で博物館を利用するくらいの余裕というか、授業をこなしていく上で「博物館を利用しなければいけない」くらいの体制に、今、学校はなっているのでしょうか。 今、子ども達から離れてしまっているのが教育の中身があまり分からないので

	<p>すが、昔と違って割とゆったりしているような感じがするので、詰め込む授業が多かったりすると現場へ行って博物館を利用しながらの授業に入れてもらえるみたいな、そういう頻度があるのかなあという気もするのですが、先生たち、いかがですか。</p>
相田委員	<p>ジオパークの関係で子ども達の相手をすることが多いのですが、博物館を利用すると知識が高まるのかなという部分があるので、ぜひ活用したいという気はあるんです。しかし、先生達が博物館の内容をよく分かってないところがあります。佐渡博物館は分かっている方が多いと思いますが、両津博物館や他の博物館が何を展示しているか分かりません。各博物館を知ったうえで総合学習のテーマを決めて、というような流れを組んでいただくとよいかと思います。やはり、学校と博物館が少し離れているのでは、ということも実態としてあるように感じます。</p> <p>子ども達の学習の時間がない、ということはないと思います。総合学習の時数は減らされてきていますが、それなりに活動できる時間は持っているのもっと博物館の自体の中身を知ってもらうことが重要だと思います。</p>
池田副会長	<p>私も学校現場へ出る機会が多いのですが、共通するところがあります。先生方が若くなったというか、島外の先生が学級担任であることも多いものですから、佐渡のことを本当に知っているのかなと。自分の地域のこともあまり知らないので、校長先生に「校内研修しませんか」と言うのだけれど、なかなか時間が取れないのでやってない。だから、博物館の良さなどを博物館サイドから攻めて行かないといけないのではないかと思います。</p> <p>博物館が財団法人から市立になった時に、小学校の社会科の先生方が「博物館検定」というワークショップの原案を持ってきて、我々も一緒に作ったんですけど、そのような勢いのある先生方が管理職になったり、総合的な学習時間が少なくなったりして、博物館を活用しようと思った先生方がクラスを担当してない現状だと学校から伺っております。だから、博物館の方でもう少し攻めてもらいたいなあと思います。</p> <p>財団法人佐渡博物館を市立として受け入れた時、活用の大きな柱の一つに学校教育を強調されまして、その時に職員の一員として「これは大変だな」という思いでした。その頃の学校や当時の会長さんとのからみで、学校と関係する仕組みを作ろうという事で動いたこともあります。</p>
伊藤委員	<p>博物館で、積極的に、例えば島外の修学旅行生を集めて何か対応できるかどうか。かつて、大学附属小学校の子ども達がいくつかの興味あるグループに分かれ、佐渡にいるそれぞれの専門家のところ研修に行って、場合によっては「後は任せます」と置いていかれたりして、一日生きものについて説明したり、採取法をやったり、別のグループは民芸関係の研修を行ったりしていました。向こうから打って出られたら、博物館で対応出来るのですか。</p> <p>色々な分野を展示してありますけれど、その中で一分野、例えば民俗なら民俗</p>

	とか曼荼羅とか、そういうものに興味を持っている小学生や中学生がグループで来て学習したいといった場合に、対応できるのですか。
濱崎センター長	<p>修学旅行の生徒の数や日程、こちらの専門分野によっては出来るのかもしれませんが、向こうからの要望に対して出来るかという、今の体制では出来ないかもしれません。</p> <p>修学旅行生が何人か佐渡博物館に置きっぱなしになった状態で、研修とか、学習とかが出来るかは、検討の段階だと思います。</p>
池田副会長	<p>関連して。宮城教育附属大や、東京教育大付属の中学生なんかは、中学生でありながら知識力がものすごいので、本当にプロパーでないと対応できないような質問攻めになることも事実ですよ。</p>
濱崎センター長	小学生かもっと上かによって全然違いますが、中学校ぐらいですか。
池田副会長	中学校で3泊4日とか、けっこう長く来るものですから。
濱崎センター長	今の受入体制は、まだ不完全だと思います。
伊藤委員	<p>島内の小学生たちも、まじめに博物館へ来て勉強しようということになると、先生方が前もって準備させて来ると、結構大変ですよ。</p>
濱崎センター長	<p>小学生などの博物館見学、学習ということで来館される際には学芸員が説明することもあります。専門的に一つの分野を、ということになると難しいですが、全体的学習であれば出来ると思います。今のお話にあった、修学旅行生の専門分野で、ということになると難しいという気がします。</p>
白杵会長	<p>佐渡の人全員が佐渡を本当によく知っているかという、あまり知らないんじゃないかと思います。私は佐渡生まれでないで佐渡のことは良く分からないといっても、興味があるのでいろいろ出かけたり見たりして、割と分かります。</p> <p>博物館というのは、いつ行っても佐渡のことがおおよそ分かる。そういう展示や、更に興味を惹きつける展示、更には観光客だけではなく、佐渡の人に来てもらえる様な発信といいますか、ただ黙って来るのを待つのではなくて、来てもらえるように佐渡博物館が積極的に仕掛けると言いますか。八幡を通ると、正面に大きな木があるので、入口に看板を掲げてあってもほとんど分かりません。佐渡博物館で何をやっているのか、というのも、坂を上がらないとそんなに分かりません。八幡はけっこう人が通る所ですから、佐渡博物館では、今こんなことをやっているんだなあ、面白そうだなあ、立ち止まって見てみようというような企画展示、発信をもっと積極的にやると言いますか。やっているのでしょうか、ただ待つのではなく、今まではそういうことが成されてきていなかったんじ</p>

	やないか、博物館そのものが。個人的意見ですが、そう思います。
池田副会長	<p>先ほど伊藤正一先生の言われたことに関係しますが、過去にもお話ししたかも分からないんですが、財団法人佐渡博物館のレベルの高さは、専門部会を設けており、部会の人たちは佐渡博物館の展示、研修、その他をバックアップし、その成果を研究収録のようにずっと出していました。レベルアップする為には、そして、今の様な際にはサポートできるような体制を作っておいた方がいいんじゃないかと思うのですけれども。</p> <p>以前にもお話ししたけれど、予算その他の点であれなんでしょうか、島内に優れた方々は相当いるんですが、みんな活かさきれていないというのが現状だと思います。</p>
白杵会長	以前はそういう部会があったのですか。
伊藤委員	ありました。
白杵会長	いつなくなったのか。
伊藤委員	自然科学分野や民俗分野や考古分野など、島内に「一匹狼」が沢山いて、その方たちが集まる場所があったんです。博物館に質問が来て、それが分からない時は、その集まりに連絡行くようになっていたし、一年に一回とか二回、そういうグループを博物館へ呼んで会議をやったりしたんですね。お互いに情報交換したり、困ったことがあったり、新しい知見があると、勉強会的なところもあった。今は、博物館から委嘱も何も連絡がない。
白杵会長	いつの間にかそういう組織とか、活動が無くなったということですね。
伊藤委員	館長がそのような意志のある有識者で、そういうグループがなければダメだという強い意志をもっていましたから。一生懸命そういう人たちを育てて、佐渡の中でいろいろな分野で対応できるような人を作って研究者としても出来るくらいの。そして、館報に載せる、というシステムがあった様です。
白杵会長	大事なことですね。
池田副会長	予算の関係もあったりして消えていたのですが、ああいうのを復活すれば、佐渡博のレベルが低いという訳ではないが、前回話したように、巷で「佐渡博、質問してもなかなか」というのを耳にしたことがあるんですけれど、そういう克服にも繋がるのではと思います。
伊藤委員	費用弁償や日当がなくても集まっていたよね。好きなんだもん、金なんか

	<p>いりませんよ。</p>
白杵会長	<p>是非、そういうものがかつてあれば、いつなくなったのか、途中で手を引いたのでしょうけれど、よく調べて、復活して、仕組みを作り出して活動する。それが佐渡全体を活性化していく事なんですから。</p> <p>佐渡にあるものをもっと有効に活用し、あるものを良く知っている人を集め、それを発信する。そうすると、観光客も「佐渡はすごいところだなあ、素晴らしい文化が色々な自然が残っているなあ」と分かるわけですから、そのような仕組みを博物館が中心となって作り出していく。博物館、あるだけじゃ何も意味がないわけではないが、機能させなければどうしようもない、そう思います。</p>
五十嵐主事	<p>4 報告事項</p> <p>(2) 令和元年度佐渡学センター事業の中間報告について</p> <p>(資料5について説明)</p>
池田副会長	<p>共催事業についてお聞きしたい。昨年まであった(新潟県立)歴史博物館との共催事業が、恐らく来年なくなるのではないかと心配したのですが、今年は無かったものなんですけれど、共催事業に関わる打ち合わせ等、基本的な構えについてお聞かせ願えればと思うのですが。</p> <p>心配したというのは、9月に歴史博物館と佐渡市教育委員会の共催で、あいぼーと佐渡で文弥人形上演等の文化事業があったんですけど、後片付けの時、手伝っているのは当時の係長一人だけだったんですよね。そして、わたしと、解説をした池田哲夫先生と二人だけ手伝ったような状態で。向こうから来られた方お二人と、歴史博物館の館長、第四銀行の頭取を辞められたばかりで館長になった方で、その方もちょっと手伝っているような状態でした。池田先生と「これじゃ来年あたり佐渡へ来ないかもしれないなあ」と二人で話したんですけど、今年見たら(佐渡で事業が)ないのですが、長岡で2回その事業をやる予定が入っていました。この間も、個人宛で歴博からポスターまで送ってきて、どこか貼っておいてくださいというので、あいぼーと佐渡まで貼りに行ったんですけども。</p> <p>連携事業の時は、ある程度向こうからもそういう方がいらっしゃるの、佐渡市としてもそれなりの対応を、少なくとも館長さんあたりは都合をつけて顔を出せなかったものかという感じがします。その時市の職員何人か見たんですが、手伝う方、本当にいないでさっと消えてしまいました。共催事業の様な時には、もう少し佐渡学センターで積極的に出ていただきたいなというのが、そのときの印象だったのですけれども。</p>
濱崎センター長	<p>それは、今年度の話しですか。</p>
池田副会長	<p>去年。来年度はもしかしたら、佐渡は嫌われるかなと冗談言っていたら、今年はない。県は、長岡のチラシまで貼ってくれと、私、直接関係ないのに送って来られてというような状況です。</p>

	<p>そういう意味で、対外的なものは、出来るだけうまくすると、こちらも利を得られるのではと思うので、色々なところで協力してもらえるのでは。</p>
濱崎センター長	<p>共催事業であれば、こちら主催の事業ありますので、協力させていただきたいと思います。</p>
井野端主事	<p>5 議事 (1) 今後の佐渡博物館展示室の活用について (資料6について説明)</p>
池田副会長	<p>1 階の佐渡金銀山展示室の資料に関して、世界遺産推進課の方とは、煮詰まった結果の内容なのでしょうか。</p>
井野端主事	<p>はい、こちらは世界遺産の方にも説明いたしまして、協議済みです。</p>
濱崎センター長	<p>また、ジオパーク関係についても展示がありますので、そちらの方も協議済みです。</p>
池田副会長	<p>きりりうむは博物館機能を持たせるということでスタートしたけれど、出来上がったらインフォメーションだけで、博物館的なものがないです。だから、世界遺産の方でいいというならいいのかもしれませんが、ちょっと気がかりな……世界遺産になった時、何もないじゃないかと言われそうな気がするものですから。</p> <p>相川郷土博物館をうまくすればそれで価値はあると思うのですが、その辺、各関連施設と十分協議した上でやってもらいたいと思います。</p>
濱崎センター長	<p>一応、了解は得ておりますので、この協議会で皆様の意見をいただいて、特に問題ないということであれば、新年度に予算計上して、来年度あたりから進めていきたいと考えております。</p>
伊藤委員	<p>展示がいいかどうかというのを我々が話す必要があるかと思うのですが、佐渡博物館へ行ってそっと見るわけにもいかないし、お金は払わないと怒られるしどうすればいいんですかね。あそこの展示がどうかといわれても、矛盾を感じて。委託されて博物館協議会委員をやっているのに、自由に博物館に入れず、展示がどうかと言われても困ってしまうなど。行くのであれば該当する博物館に連絡しておくと言いますが、わざわざ行く事はないので、友達とか仲間を連れて、たとえば小木に行った時に、面白いのがあるんだよと言って、連れて入っても我々諸ともお金を払わなければならない。連れて行かなければいいんですけど、連れて行ってやりたいと思う。メンバーのお金は払うのは当然ですけども、我々は宣伝しているのに、お金を払わなければいけないのは何かおかしいかと。そうして今みたいはどうでしょうかと言われて見ていないという。何かぶら下げて顔写真付きの何かあると楽ですね。</p>
池田副会長	<p>関連して。企画展をやるのであれば、我々もぜひ見させていただきたい。竹芸展のときは案内が来たのですが、財団時代、私は市の職員でしたけれど裏で</p>

	<p>色々、実務的なお手伝いもしたのですが、その時、企画展をやる度に関係者へ招待券を送っていたんですよね。正直言って、市になったら冷たいなあ。会議しかしないで、あとはみんな自前で。島外から来た研究者も連れて行ってやりたいと思うけれどお金を出してまでなあ、と。せめて企画展の時に招待券をくれるようにと言うのもおかしいけれど、そうすれば我々も行って充分に見て意見を述べたいと思うのですけれど、ご検討いただけませんか。</p> <p>案内だけは来ます。財団の時は、ハガキの下にご招待券というのがついていたんですよ。</p>
伊藤委員	<p>足穂先生のときには、誰が出したか分からないけれど、はがきの下に切り取りがありましたね。</p>
濱崎センター長	<p>検討したいと思います。</p>
相田委員	<p>ロックガーデンのことで意見を述べたいと思います。</p> <p>今ロックガーデンへ行って、石を見て、解説板を見ても、何も理解出来ないという状態だと思います。岩石自体が変質しているし、苔が付着してよく分からないようになっていまして、展示物の劣化に問題ありではないかと感じます。お金はかかるにしても、断面を切らないと岩石の特徴も分からないし、ただ石が並んでいるだけでまったく勉強に活用できない。そういう状態がロックガーデンにはあるように思います。防波堤に置いてある石の方が立派だと思う訳で、そういう状態はあまり好ましくない。展示物の質の良さも追い求めていかないと、佐渡博の価値も落ちるのではないかと思います。</p> <p>あとは、総合博物館ですので、自然、文化、歴史とあると思いますが、私自身が自然系の人間であるせいかもしれませんが、自然に関する展示が少ないような気がします。常設展は「佐渡がどうやってできたか」という地質的な話からずっと遡って現在に向かっての展示になっているので、それではあまりにも展示物が少ないし、私が、実際に学校に出て子どもたちを連れて行って、植物や地質の話をする時にあまりにも資料がなさ過ぎてだめだなという気持ちもないわけではなくて、その辺りを考慮して、考えていただきたいというのが一つあります。</p> <p>ですので、フロアの面積は決まっていますのですけれど、あるフロアは自然、あるフロアは歴史、文化というように、3つに分けて展示した方がいいんじゃないのでしょうか。博物館それぞれに特徴を持たせる、例えば両津なら民俗、どこなら歴史、どこなら自然と分けようという話もありながら、現実的に難しいという話もありましたが、そうであるならば佐渡博の中でエリアを設けて、専門的に学べるぐらいの。狭いかもしれませんが、そこは工夫じゃないかと考えます。</p>
濱崎センター長	<p>今後、展示関係については検討させていただきます。</p>
白杵会長	<p>大事な意見ですので。佐渡市はお金もないでしょうけれど、予算をかけなければ</p>



	<p>ばものは良くなって行きませんから。そういうのは1回かけるとずっと活用出来るんですから。毎回お金をかける訳でないのですから、やはりお金をかけてしっかりと施設を作って、皆さんから見えていただく。そういうのを改めてやっていかないとだめかなあと。</p> <p>担当としては大変でしょうが、ぜひ教育長と相談して予算を獲得してください。佐渡市に来て見てもらうなら。博物館は大事な観光の拠点なんですから、そこをまたしっかりと作らないと。あとはお寺や神社とかしか佐渡はないんですから。是非、今日のような意見を現実に反映するようにしていただきたいと、お願いします。</p>
池田副会長	<p>寄託資料や寄贈資料が多いのはいいことですが、こういうのをいただきましたということ、市報やなにかで地域や我々が目にするというような方法はないのでしょうか。</p> <p>昔は、佐渡学センターだよりも何方から寄贈いただきましたとか、どれだけの人が見るかどうかは別にしても出すのと、インターネットに載せていたので、見られる体制はしていたのですが、最近あまり。我々はここに来て見ているので分かるのですが、有効活用するという点では、何らかの形で知らせる方法を工夫して頂ければと思います。</p>
井野端主事	<p>平成 30 年度の年報には、こういう形で寄贈いただきましたということで掲載させていただきました。平成 29 年度や 28 年度など過去のを見ますと確かに載っていなかったのですが、昨年度からどういった資料をいただいたかということ、報告という形ではないですが記載させて頂いています。</p>
五十嵐主事	<p>近年 SNS への投稿をやっておりまして、その中に、本年度寄贈いただいたものを出したとか、市報の中でも寄贈いただいた資料を使った企画展をやっているのを載せております。ただ、SNS も市報も文字の制限があるので、いただいたものすべてを載せている訳ではないですが、抜粋して報告はさせて頂いております。</p>
白杵会長	<p>今後の展示室の活用の最後に「常設展示パネルが古くなったので来年度予算でパネルを作製していきたい」とありましたが、内容はもちろん良いんでしょうけれど、パネルが分かりにくい。私らは見てさっと通り過ぎるだけです。ただ、相川（きらりうむ）は映像になっている。コンパクトに、映像で分かりやすい説明にしていかないと。予算はかかる事でしょうけれども、そういう風に博物館内を活性化して、佐渡博は新しくなって来ているなというイメージを発信する必要があるなと思います。</p> <p>お金はかかる。なにをやるにも。予算をかけてもらわなければならない。市長に言って予算を持って来てもらわなければならない。佐渡全体のことでありますから。</p>

池田副会長	<p>佐渡市の将来ビジョン、前回のものには「博物館」という文字が一つも入ってません。佐渡市のビジョンを一生懸命読んで、目を通したのですが、博物館という文字は残念ながら出てこなかった。博物館の重要性を認識してもらうように我々も頑張らなければなあと思っています。</p>
濱崎センター長	<p>5 議事  (2) (仮称) 佐渡博物館ビジョン (整備方針) (案) 【たたき台】について  (資料 7、8 について説明)</p> <p>資料 7 は前回の第 2 回の博物館協議会でも出された資料です。昨年 3 月 (平成 30 年度第 2 回博物館協議会) の議事録を拝見しましたが、博物館構想、整備計画が進んでいなかったという記録がありましたので、資料 No8 の佐渡市博物館ビジョン整備方針 (たたき台) のようなものを作成していきたいと考えております。</p> <p>博物館ビジョンについては、来年 7 月末頃までの完成を目指して作りたいと思います。その中で、平成 23 年 5 月に答申のありました内容を重視し、これを基本とした博物館ビジョンという形に変えていきたいという考えです。最初から作り出すのではなく、答申を変更しながらビジョンにしていきたい。仮に作った内容がこの状態 (資料 8) です。これは、確定でもありませんし、今後この内容について詰めていきたいというのが、現在の方針です。もし、大きな変更や、これと違う方向がいいのではないかという流れがあれば教えていただきたいと思います。方向はこれで進みます。</p> <p>横長のページの一番上に書いてあるのが、佐渡市の博物館ビジョン整備方針の流れです。策定日を 8 月 1 日と、目標を定めております。今後は素案策成を行い、2~3 月頃には住民説明会が出来るかと思っているところです。今現在、佐渡市将来ビジョンの住民説明会を行っているということもあり、その時期を外したいという考えから、2~3 月頃を考えています。この流れから、パブリックコメントの募集を 5~6 月に実施して、7 月末までに議会や教育委員会に諮りながら、8 月 1 日の策定として検討しているところです。細かいところは後で見たいと思いますが、また、4 つのエリア別の考えを示さなければならないという事で、地理的關係も含めて 4 つのエリアを考えているところです。ビジョンについては以上です。</p> <p>続きまして、各博物館についてです。以前から他の博物館を分館にという流れがあったと思いますが、佐渡博物館については、現在のまま、中核的存在として進んでいこうと考えております。両津郷土博物館については、資料館という形にして、収蔵施設的なことも含めながら考えています。佐渡国小木民俗博物館、白山丸展示館につきましては、昨年度にもお話にあったと思いますが、旧後山小学校の体育館を改修する予定であり、当初は展示収蔵という考えであったのですが、展示という観点を外し、収蔵庫として進めていきたいという考えです。その中で、展示は小木博物館で出来ればということで検討中でありまして、これは分館というよりも博物館のまま進めたいという流れであります。また、相川郷土博物館に</p>

	<p>つきましては、計画がまだ確定していないところもあり前回は出しませんでした が、耐震補強の改修工事が必要になってきます。来年度につきましては基本設計、 R3には実施設計、改修工事を進めて行きたいと思えます。耐震工事の状況によっ ては内部での展示が困難になる可能性もありますので、その辺の含みも考えなが ら、今後検討しなければなりません。R4から、工事の内容によっては分館になる かもしれませんし、博物館のままである可能性もありますし、もしかしたら博物 館機能が無くなるかもしれないという考えから、このような形になっております。 佐渡植物園については、分館ということで進めて行きたいことを示させていた だいております。</p> <p>続きまして、新規施設です。新規施設につきましては、今ほど説明しましたよ うに旧後山小学校の体育館です。来年度に実施設計を予定していますし、R3には 改修工事、R4から資料の搬入を行えるような形で進めたいと考えるところであり ます。一番下にある新規施設につきましては、今後このままの状態が、博物館、 続くわけでもないということから、新たに建物を建てなければならないかという 状況はあります。ですが、ゼロスタートですので、何年という話はできません。 予定としては、R6年頃から、この方向で進めていったらどうかという案でありま す。場所も決定していません。</p> <p>続きまして、資料館です。これは前回の報告内容と変わっていません。特に、 奉行所につきましては外部改修等が必要ですので、平成28年度に整備基本計画 を、国の補助金を使って作成しておりますので、この計画に基づきながらR4年 には基本設計、R5年には実施設計、R6から改修工事ということで考えています。ま だ具体的なことが示されておきませんので、2月頃の協議会では示されているか というところでは、簡単ですが以上です。</p> <p>すみません、訂正をお願いします。博物館2番目の両津郷土博物館のところで、 佐渡博物館両津郷土博物館分館に変更するとありますが、分館でなく資料館と考 えていますので、訂正してもらいたいと思えます。また、その下の佐渡国小木民 俗博物館を、佐渡博物館小木郷土博物館分館でなく、(独立した)博物館とい うことでもあります。以上です。</p>
渡邊教育長	<p>博物館ビジョンの新しい未来ということで、このあと1年ほどかけて作りたい と思っております。平成23年の答申は平成26年(までの計画)で終わっておりま す。そこから約6年間、何も進んでなかったという現状だと思えます。これから、 色々な整備、予算化をしていくにしても、今後どういう計画で進んでいくかとい うのが、財政当局にとっては一番大事なところだと思えます。</p> <p>皆様方、色々な要望があるのは存じておりますが、その中で実現していく為 には、いわゆる市長を含めた財政当局に数値的なもの、方向的なものを示さないか ぎり予算はつきませんので、その辺を考えながら、事務局としてはビジョンとい う形である程度の方向性を持ち、この後の予算要求をしたいと思っております。</p> <p>これについては、これ(博物館ビジョン)を作ったからといって、この後の予 算要求に必ず繋がるものではありません。今までの意見にもありましたけれど、</p>

	<p>博物館がどうしても必要なのか、なぜこれから整備しなければいけないのか、という大問題が予算上出てくると思います。その辺も含めて、皆様からしっかりと議論をしていただいて、そういうことに堪えうるような形、そこまでは行かなくてもある程度の形を作っていきたいというのが我々の希望であります。</p> <p>今日すぐ議論していただくという訳ではないのですが、ちょっと考えていただいて、たたき台がございますので。平成23年度のものほとんど進んでないということであると、「このままでも良いじゃないか」という部分もあるのですが、佐渡の場合、例えば金銀山の整備も進んでいますし、トキについても進んでいますし、ジオパークについても進んでいます。ある程度、佐渡としての柱が出来てきたという感じもいたします。その中で、博物館をどういう位置づけにしていけばいいのかということが今、大きな問題だと思います。ぜひ平成23年度のものをご覧になって、そういう状況の中で新しい博物館のあり方というものがあるべきかということを考えて、ご意見をいただきたいと思います。</p>
池田副会長	<p>この計画に取りかかる前に。例えば両津郷土博物館は今閉めていますよね。必要に応じて開くというようになっておりますし、旧北中収蔵庫は資料が置きっぱなしなんですけれど、展示品の湿度と気温管理ですか、これ（博物館ビジョン）が出来てからやるのではなくて、管理上の課題ですので、湿度や気温をしっかりと計って、出来る範囲で対応してもらいたいと思います。半年間、室内の湿度と気温を全部計って、コンピューターでデータを取りましたけど、博物館らしくない湿度の時がありますから、管理をきちんとして、財産を失わないようにお願いします。これとは別に、緊急策としてお願いしたいと思います。</p>
渡邊教育長	<p>両津郷土博物館については耐震工事が成されていない状況で、建物の寿命も来ているような状況でございます。この後、市の個別建設計画の中でどういう風にしていくか決まるのですが、両津郷土博物館を長期的に持続することに持って行くのはちょっと難しいかと思っていますので、新しい方法を考えない限り難しいというのが現状です。もう、耐震状態が悪いので、中に人を入れられないというのが正直なところです。</p>
池田副会長	<p>味方家文書など貴重なものを非常に大雑把に置いてあるものですから、貴重なものはどこか安全なところへ移すとか、その辺検討していただきたい。</p>
渡邊教育長	<p>その辺のところもあるため、ビジョンの方を急ぎたいと考えています。</p>
粕谷課長	<p>今の話に関連して。新規施設に旧後山体育館とありますが、これが実現するかどうかは別にしても、現在収蔵品は北中学校等にありますが、資料を集約してある程度管理をしっかりとしなければいけないという中で、新たな収蔵施設を検討しております。</p> <p>ただ、収蔵品も目いっぱいあるものですから、今後資料が増えていった場合、</p>

	<p>収蔵しきれない状況があります。収蔵する施設が足りなくなってくる。その辺りも考えたときに、ある程度、収蔵品の整理を考えなければいけないと思っております。文化財などは廃棄出来ないのですけれど、中には本当に必要かどうか判断したときに、「これはもういらぬじゃないか」というものがあるのであれば、処分することも一つの方法として考えていかなければいけないとも思っています。そういった場面が出てきた時には、皆様のお知恵を拝借し、またお願いしたいと思っております。</p>
臼杵会長	<p>それも大事なことだと思います。旧 10 市町村がそれぞれ競って、自分の市町村に博物館を作ったわけですよね。それが佐渡市になって整理するには大変です。そして今のように、不要なものがあれば処分すべきで、いつまでも収納しておくというのは無駄なことですから、どこかでそれを大胆にやらないと、と思います。なかなか作業に手がかかりますね。10 市町村の後始末をするのに、もう 10 年以上、15 年も経っているのですが、やはりまだ引き続いている。大変な事なんだ。</p> <p>さて、大変貴重な意見をいただきましたが、また次の博物館協議会もありますので、その中でまた煮詰めて行きましょう。</p>
	6 その他
池田副会長	<p>最近、温暖化その他で災害が大変なのですが、新潟歴史資料救済ネットワークというのがあって 雨とか津波とかで、被災した歴史資料や文化財の応急処置等をボランティアでやってくれるというネットワークがあります。佐渡市はそれに入っていないのだけど大丈夫か、という事を外部の人に言われたものですから、是非。</p> <p>「佐渡市の博物館は、災害の心配はない」なんて思わないように、今はどんな災害が起こるか分かりませんので、佐渡市の博物館も加わった方が良いのではないかと考えています。ご検討ください。</p>
五十嵐主事	(平成 30 年度第 2 回博物館協議会の議事録確認を依頼)
池田副会長	7 閉会